

森に活気!

第4回森づくりサポーター活動開催!

新型コロナウイルスや台風などの影響で、野外での育樹作業がー昨年の3月以来2年ぶりとなった今年度の第4回森づくりサポーター活動が、令和3年3月6日(土)、心配された雨も上がり早春の光が時折さす穏やかな天候のもとで開催されました。

当日は、ススク着用など新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底した中、森づくりサポーター107名と多くの皆さんが参加し、江見所長のあいさつと平塚森づくり企画員から作業内容の説明のあと、森中の活動が始まりました。



開会式 (江見所長あいさつ)



作業内容説明 (平塚企画員より)



作業現場に移動

今回の活動は、平成20年～21年に植栽された里の森ゾーンで、10m近くにまで生長したアラカシ、シラカシなどの常緑樹、クヌギ、コナラ、セシダンなどの落葉樹が混み合った森で、できるだけ密を避け広い範囲に分かれて間伐などの作業を実施しました。



里の森ゾーンでの間伐作業 (密を避け分かれて実施)

久しぶりの森の中の活動であり、また前日の雨で足元が悪く、さらにススクを着用した作業でしたが、サポーターの皆さんは熱心に取り組み、森は明るさを増して木々が一層元気づいてみえました。



間伐後の常緑樹の森 (左) と落葉樹の森 (右)

当日は、新型コロナウイルスで自粛ムードが続く中、皆さんが集い自然の中で体を動かし、森も活気が戻ったように感じました。参加していただきました皆さん、どうもありがとうございました。来年度も新型コロナウイルス感染拡大防止対策を十分に行い、より充実したサポーター活動を計画していきますので、皆さんの協力とご参加をよろしくお願いします。